令和6年度 山口県設計標準歩掛表 改定・訂正履歴

番号	日付	区分	設計歩掛表	ページ	内容	適用基準日	
1	令和6年10月7日	訂正	設計標準歩掛表 (一般共通編)	Ⅱ-5-⑫-2	燃料消費量の訂正	061001	
2	令和6年10月7日	訂正	設計標準歩掛表 (港湾編)	3-4.2-18 3-4.2-19	不足ページの追加	061001	
3				3-8-12 3-8-13	注意書きの追加		
4				3-8-16 3-8-17	重複ページの削除		
5				単-10	船員供用係数の訂正		
6				単-13	供用1日当たり数量の訂正		
7				令和6年10月17日	訂正		設計標準歩掛表 (道路編・電気(電気通信)編・河川編・機械設備編)
8	Ⅳ-7-⑩-6	損料表の訂正					
9	令和7年1月8日	訂正	業務関係積算基準及び標準歩掛表 【運用編】	運7-68 運7-93	交通規制設備の単位の訂正	061001	
10		改定	設計標準歩掛表 【運用編】	運1-16	伐採の作業費等の見積方法の追加	070115	
11				運1-18, 19	一般貨物自動車運送事業に係る標準的な運賃の改定		
12				運6-41	安全監視船の施工コードの追加		
13	令和7年3月4日	改定	設計標準歩掛表 (港湾編)	単-10	船員供用係数の改定	070315	
14			業務関係積算基準及び標準歩掛表 【運用編】	運10-1	地積測量図等作成業務委託基準単価の改定		
15	令和7年3月28日	改定	設計標準歩掛表 (一般共通編)	I-2-②-33	技術管理費積上げ項目の改定	070401	
16				I-9-①-1, 2	現場環境改善費の改定		
17				設計標準歩掛表 (港湾編)	2-1-4		測量業務の諸経費率の改定
18				業務関係積算基準及び標準歩掛表	1-1-3		測量業務の諸経費率の改定
19				設計標準歩掛表 【運用編】	運1-3～運1-7		設計計上資材単価決定要領の改定
20				業務関係積算基準及び標準歩掛表 【運用編】	運12-2～運12-11		災害査定用測量設計業務の改定
21					運13-1～運13-11		砂防メンテナンス関係業務の改定
22	令和7年4月25日	訂正	設計標準歩掛表 (一般共通編)	I-14-④-15	保守点検 (ICT) 項目の削除	070401	
23				Ⅱ-1-②-45,46	保守点検 (ICT) 項目の削除		
24				Ⅱ-1-③-12	保守点検 (ICT) 項目の削除		
25				Ⅱ-2-①-9	保守点検 (ICT) 項目の削除		
26				改定	設計標準歩掛表 (道路編・電気(電気通信)編・河川編・機械設備編)		Ⅳ-1-①-24
27		Ⅲ-1-④-9, 10	保守点検 (ICT) 項目の削除				
28		Ⅲ-2-⑦-8, 9	保守点検 (ICT) 項目の削除				
29		Ⅲ-3-①-14, 15	保守点検 (ICT) 項目の削除				
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							

令和6年度 山口県設計標準歩掛表（一般共通編）
正誤表

別紙

適用基準日：070401

頁	正	誤																																																																																																																																																																																																																																										
<p>I-14-④-15</p> <p>第I編 第13章 その他 ①作業日当たり 標準作業量</p>	<p style="text-align: right;">070401以降適用(070425訂正)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">工種名</th> <th colspan="4">設 定 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">土工 (ICT)</td> <td colspan="4">① 掘削 (ICT) ※[ICT建機使用割合100%]</td> </tr> <tr> <td>土質</td> <td>施工方法</td> <td>障害の有無</td> <td>作業日当り標準作業量</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">土砂</td> <td rowspan="10">オープンカット</td> <td rowspan="5">無し</td> <td>5,000m3未満</td> <td>250 m3/日</td> </tr> <tr> <td>5,000m3以上 10,000m3未満</td> <td>290 m3/日</td> </tr> <tr> <td>10,000m3以上 50,000m3未満</td> <td>350 m3/日</td> </tr> <tr> <td>50,000m3以上</td> <td>410 m3/日</td> </tr> <tr> <td>5,000m3未満</td> <td>150 m3/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">有り</td> <td>5,000m3以上 10,000m3未満</td> <td>180 m3/日</td> </tr> <tr> <td>10,000m3以上 50,000m3未満</td> <td>230 m3/日</td> </tr> <tr> <td>50,000m3以上</td> <td>270 m3/日</td> </tr> <tr> <td>片切掘削</td> <td>—</td> <td>242 m3/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">岩塊・玉石</td> <td rowspan="10">オープンカット</td> <td rowspan="5">無し</td> <td>5,000m3未満</td> <td>190 m3/日</td> </tr> <tr> <td>5,000m3以上 10,000m3未満</td> <td>220 m3/日</td> </tr> <tr> <td>10,000m3以上 50,000m3未満</td> <td>270 m3/日</td> </tr> <tr> <td>50,000m3以上</td> <td>340 m3/日</td> </tr> <tr> <td>5,000m3未満</td> <td>120 m3/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">有り</td> <td>5,000m3以上 10,000m3未満</td> <td>140 m3/日</td> </tr> <tr> <td>10,000m3以上 50,000m3未満</td> <td>170 m3/日</td> </tr> <tr> <td>50,000m3以上</td> <td>220 m3/日</td> </tr> <tr> <td colspan="4">② 路体(築堤)盛土 (ICT)</td> </tr> <tr> <td>作業形態</td> <td>施工数量</td> <td>障害の有無</td> <td>作業日当り標準作業量</td> <td>ICT標準作業量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">敷均し+ 締固め</td> <td rowspan="2">20,000m3未満</td> <td>無し</td> <td>550 m3/日</td> <td>550 m3/日</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>280 m3/日</td> <td>280 m3/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">20,000m3以上</td> <td>無し</td> <td>690 m3/日</td> <td>690 m3/日</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>400 m3/日</td> <td>430 m3/日</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">③ 路床盛土 (ICT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>施工数量</td> <td>障害の有無</td> <td>作業日当り標準作業量</td> <td>ICT標準作業量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">20,000m3未満</td> <td rowspan="2">20,000m3未満</td> <td>無し</td> <td>430 m3/日</td> <td>430 m3/日</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>140 m3/日</td> <td>220 m3/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">20,000m3以上</td> <td rowspan="2">20,000m3以上</td> <td>無し</td> <td>500 m3/日</td> <td>540 m3/日</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>140 m3/日</td> <td>320 m3/日</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">I-14-④-15</p>	工種名	設 定 内 容				土工 (ICT)	① 掘削 (ICT) ※[ICT建機使用割合100%]				土質	施工方法	障害の有無	作業日当り標準作業量	土砂	オープンカット	無し	5,000m3未満	250 m3/日	5,000m3以上 10,000m3未満	290 m3/日	10,000m3以上 50,000m3未満	350 m3/日	50,000m3以上	410 m3/日	5,000m3未満	150 m3/日	有り	5,000m3以上 10,000m3未満	180 m3/日	10,000m3以上 50,000m3未満	230 m3/日	50,000m3以上	270 m3/日	片切掘削	—	242 m3/日	岩塊・玉石	オープンカット	無し	5,000m3未満	190 m3/日	5,000m3以上 10,000m3未満	220 m3/日	10,000m3以上 50,000m3未満	270 m3/日	50,000m3以上	340 m3/日	5,000m3未満	120 m3/日	有り	5,000m3以上 10,000m3未満	140 m3/日	10,000m3以上 50,000m3未満	170 m3/日	50,000m3以上	220 m3/日	② 路体(築堤)盛土 (ICT)				作業形態	施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量	ICT標準作業量	敷均し+ 締固め	20,000m3未満	無し	550 m3/日	550 m3/日	有り	280 m3/日	280 m3/日	20,000m3以上	無し	690 m3/日	690 m3/日	有り	400 m3/日	430 m3/日	(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。					③ 路床盛土 (ICT)						施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量	ICT標準作業量	20,000m3未満	20,000m3未満	無し	430 m3/日	430 m3/日	有り	140 m3/日	220 m3/日	20,000m3以上	20,000m3以上	無し	500 m3/日	540 m3/日	有り	140 m3/日	320 m3/日	(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。					<p style="text-align: right;">070401以降適用</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">工種名</th> <th colspan="4">設 定 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">土工 (ICT)</td> <td colspan="4">① 掘削 (ICT) ※[ICT建機使用割合100%]</td> </tr> <tr> <td>土質</td> <td>施工方法</td> <td>障害の有無</td> <td>作業日当り標準作業量</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">土砂</td> <td rowspan="10">オープンカット</td> <td rowspan="5">無し</td> <td>5,000m3未満</td> <td>250 m3/日</td> </tr> <tr> <td>5,000m3以上 10,000m3未満</td> <td>290 m3/日</td> </tr> <tr> <td>10,000m3以上 50,000m3未満</td> <td>350 m3/日</td> </tr> <tr> <td>50,000m3以上</td> <td>410 m3/日</td> </tr> <tr> <td>5,000m3未満</td> <td>150 m3/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">有り</td> <td>5,000m3以上 10,000m3未満</td> <td>180 m3/日</td> </tr> <tr> <td>10,000m3以上 50,000m3未満</td> <td>230 m3/日</td> </tr> <tr> <td>50,000m3以上</td> <td>270 m3/日</td> </tr> <tr> <td>片切掘削</td> <td>—</td> <td>242 m3/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">岩塊・玉石</td> <td rowspan="10">オープンカット</td> <td rowspan="5">無し</td> <td>5,000m3未満</td> <td>190 m3/日</td> </tr> <tr> <td>5,000m3以上 10,000m3未満</td> <td>220 m3/日</td> </tr> <tr> <td>10,000m3以上 50,000m3未満</td> <td>270 m3/日</td> </tr> <tr> <td>50,000m3以上</td> <td>340 m3/日</td> </tr> <tr> <td>5,000m3未満</td> <td>120 m3/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">有り</td> <td>5,000m3以上 10,000m3未満</td> <td>140 m3/日</td> </tr> <tr> <td>10,000m3以上 50,000m3未満</td> <td>170 m3/日</td> </tr> <tr> <td>50,000m3以上</td> <td>220 m3/日</td> </tr> <tr> <td colspan="4">② 路体(築堤)盛土 (ICT)</td> </tr> <tr> <td>作業形態</td> <td>施工数量</td> <td>障害の有無</td> <td>作業日当り標準作業量</td> <td>ICT標準作業量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">敷均し+ 締固め</td> <td rowspan="2">20,000m3未満</td> <td>無し</td> <td>550 m3/日</td> <td>550 m3/日</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>280 m3/日</td> <td>280 m3/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">20,000m3以上</td> <td>無し</td> <td>690 m3/日</td> <td>690 m3/日</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>400 m3/日</td> <td>430 m3/日</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。 3. 保守点検費を算出する場合に限り、上表の「ICT標準作業量」を適用すること。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">③ 路床盛土 (ICT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>施工数量</td> <td>障害の有無</td> <td>作業日当り標準作業量</td> <td>ICT標準作業量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">20,000m3未満</td> <td rowspan="2">20,000m3未満</td> <td>無し</td> <td>430 m3/日</td> <td>430 m3/日</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>140 m3/日</td> <td>220 m3/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">20,000m3以上</td> <td rowspan="2">20,000m3以上</td> <td>無し</td> <td>500 m3/日</td> <td>540 m3/日</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>140 m3/日</td> <td>320 m3/日</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。 3. 保守点検費を算出する場合に限り、上表の「ICT標準作業量」を適用すること。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">I-14-④-15</p>	工種名	設 定 内 容				土工 (ICT)	① 掘削 (ICT) ※[ICT建機使用割合100%]				土質	施工方法	障害の有無	作業日当り標準作業量	土砂	オープンカット	無し	5,000m3未満	250 m3/日	5,000m3以上 10,000m3未満	290 m3/日	10,000m3以上 50,000m3未満	350 m3/日	50,000m3以上	410 m3/日	5,000m3未満	150 m3/日	有り	5,000m3以上 10,000m3未満	180 m3/日	10,000m3以上 50,000m3未満	230 m3/日	50,000m3以上	270 m3/日	片切掘削	—	242 m3/日	岩塊・玉石	オープンカット	無し	5,000m3未満	190 m3/日	5,000m3以上 10,000m3未満	220 m3/日	10,000m3以上 50,000m3未満	270 m3/日	50,000m3以上	340 m3/日	5,000m3未満	120 m3/日	有り	5,000m3以上 10,000m3未満	140 m3/日	10,000m3以上 50,000m3未満	170 m3/日	50,000m3以上	220 m3/日	② 路体(築堤)盛土 (ICT)				作業形態	施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量	ICT標準作業量	敷均し+ 締固め	20,000m3未満	無し	550 m3/日	550 m3/日	有り	280 m3/日	280 m3/日	20,000m3以上	無し	690 m3/日	690 m3/日	有り	400 m3/日	430 m3/日	(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。 3. 保守点検費を算出する場合に限り、上表の「ICT標準作業量」を適用すること。					③ 路床盛土 (ICT)						施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量	ICT標準作業量	20,000m3未満	20,000m3未満	無し	430 m3/日	430 m3/日	有り	140 m3/日	220 m3/日	20,000m3以上	20,000m3以上	無し	500 m3/日	540 m3/日	有り	140 m3/日	320 m3/日	(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。 3. 保守点検費を算出する場合に限り、上表の「ICT標準作業量」を適用すること。				
工種名	設 定 内 容																																																																																																																																																																																																																																											
土工 (ICT)	① 掘削 (ICT) ※[ICT建機使用割合100%]																																																																																																																																																																																																																																											
	土質	施工方法	障害の有無	作業日当り標準作業量																																																																																																																																																																																																																																								
土砂	オープンカット	無し	5,000m3未満	250 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
			5,000m3以上 10,000m3未満	290 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
			10,000m3以上 50,000m3未満	350 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
			50,000m3以上	410 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
			5,000m3未満	150 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
		有り	5,000m3以上 10,000m3未満	180 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
			10,000m3以上 50,000m3未満	230 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
			50,000m3以上	270 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
			片切掘削	—	242 m3/日																																																																																																																																																																																																																																							
			岩塊・玉石	オープンカット	無し	5,000m3未満	190 m3/日																																																																																																																																																																																																																																					
5,000m3以上 10,000m3未満	220 m3/日																																																																																																																																																																																																																																											
10,000m3以上 50,000m3未満	270 m3/日																																																																																																																																																																																																																																											
50,000m3以上	340 m3/日																																																																																																																																																																																																																																											
5,000m3未満	120 m3/日																																																																																																																																																																																																																																											
有り	5,000m3以上 10,000m3未満	140 m3/日																																																																																																																																																																																																																																										
	10,000m3以上 50,000m3未満	170 m3/日																																																																																																																																																																																																																																										
	50,000m3以上	220 m3/日																																																																																																																																																																																																																																										
	② 路体(築堤)盛土 (ICT)																																																																																																																																																																																																																																											
	作業形態	施工数量			障害の有無	作業日当り標準作業量	ICT標準作業量																																																																																																																																																																																																																																					
敷均し+ 締固め	20,000m3未満	無し	550 m3/日	550 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
		有り	280 m3/日	280 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
	20,000m3以上	無し	690 m3/日	690 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
		有り	400 m3/日	430 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。																																																																																																																																																																																																																																												
③ 路床盛土 (ICT)																																																																																																																																																																																																																																												
	施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量	ICT標準作業量																																																																																																																																																																																																																																								
20,000m3未満	20,000m3未満	無し	430 m3/日	430 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
		有り	140 m3/日	220 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
20,000m3以上	20,000m3以上	無し	500 m3/日	540 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
		有り	140 m3/日	320 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。																																																																																																																																																																																																																																												
工種名	設 定 内 容																																																																																																																																																																																																																																											
土工 (ICT)	① 掘削 (ICT) ※[ICT建機使用割合100%]																																																																																																																																																																																																																																											
	土質	施工方法	障害の有無	作業日当り標準作業量																																																																																																																																																																																																																																								
土砂	オープンカット	無し	5,000m3未満	250 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
			5,000m3以上 10,000m3未満	290 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
			10,000m3以上 50,000m3未満	350 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
			50,000m3以上	410 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
			5,000m3未満	150 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
		有り	5,000m3以上 10,000m3未満	180 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
			10,000m3以上 50,000m3未満	230 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
			50,000m3以上	270 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
			片切掘削	—	242 m3/日																																																																																																																																																																																																																																							
			岩塊・玉石	オープンカット	無し	5,000m3未満	190 m3/日																																																																																																																																																																																																																																					
5,000m3以上 10,000m3未満	220 m3/日																																																																																																																																																																																																																																											
10,000m3以上 50,000m3未満	270 m3/日																																																																																																																																																																																																																																											
50,000m3以上	340 m3/日																																																																																																																																																																																																																																											
5,000m3未満	120 m3/日																																																																																																																																																																																																																																											
有り	5,000m3以上 10,000m3未満	140 m3/日																																																																																																																																																																																																																																										
	10,000m3以上 50,000m3未満	170 m3/日																																																																																																																																																																																																																																										
	50,000m3以上	220 m3/日																																																																																																																																																																																																																																										
	② 路体(築堤)盛土 (ICT)																																																																																																																																																																																																																																											
	作業形態	施工数量			障害の有無	作業日当り標準作業量	ICT標準作業量																																																																																																																																																																																																																																					
敷均し+ 締固め	20,000m3未満	無し	550 m3/日	550 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
		有り	280 m3/日	280 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
	20,000m3以上	無し	690 m3/日	690 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
		有り	400 m3/日	430 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。 3. 保守点検費を算出する場合に限り、上表の「ICT標準作業量」を適用すること。																																																																																																																																																																																																																																												
③ 路床盛土 (ICT)																																																																																																																																																																																																																																												
	施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量	ICT標準作業量																																																																																																																																																																																																																																								
20,000m3未満	20,000m3未満	無し	430 m3/日	430 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
		有り	140 m3/日	220 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
20,000m3以上	20,000m3以上	無し	500 m3/日	540 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
		有り	140 m3/日	320 m3/日																																																																																																																																																																																																																																								
(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。 3. 保守点検費を算出する場合に限り、上表の「ICT標準作業量」を適用すること。																																																																																																																																																																																																																																												

令和6年度 山口県設計標準歩掛表（一般共通編）
正誤表

適用基準日：070401

頁	正	誤
<p>II-1-②-45</p> <p>第II編 第1章 土工 ②-2 土工 (ICT)</p>	<p style="text-align: right;">070401以降適用(070425訂正)</p> <p>4. ICT建設機械経費加算額</p> <p>4-1 ICT建設機械経費賃料加算額 地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。 (1) ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型）） 13,000円/日 (2) ICT建設機械経費賃料加算額（ブルドーザ（ICT施工対応型）） 13,000円/日</p> <p>5. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>5-1 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) 掘削（ICT）※〔ICT建機使用割合100%〕 対象機械：バックホウ 598,000円/式 (2) 路体（築堤）盛土（ICT）、路床盛土（ICT） 対象機械：ブルドーザ 548,000円/式</p> <p>5-2 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p style="text-align: right;">II-1-②-45</p>	<p style="text-align: right;">070401以降適用</p> <p>4. ICT建設機械経費加算額</p> <p>4-1 ICT建設機械経費賃料加算額 地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。 (1) ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型）） 13,000円/日 (2) ICT建設機械経費賃料加算額（ブルドーザ（ICT施工対応型）） 13,000円/日</p> <p>5. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>5-1 システム初期費 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 (1) 掘削（ICT）※〔ICT建機使用割合100%〕〔SICTH002〕 保守点検費 = 土木一般世話役(円) × 0.05(大/日) × 施工数量(m3) / 100 作業日当り標準作業量 (m3/日) / 100 (注) 施工数量はICT建機により施工する掘削土量とする。作業日当り標準作業量は「第1編第14章その他①作業日当り標準作業量」の標準作業量による。 (2) 路体（築堤）盛土（ICT）、路床盛土（ICT）〔SICTH003; SICTH004〕 保守点検費 = 土木一般世話役(円) × 0.05(大/日) × 施工数量(m3) / 100 作業日当り標準作業量 (m3/日) (注) 作業日当り標準作業量は「第1編第14章その他①作業日当り標準作業量」のICT標準作業量による。</p> <p>5-2 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) 掘削（ICT）※〔ICT建機使用割合100%〕 対象機械：バックホウ 598,000円/式 (2) 路体（築堤）盛土（ICT）、路床盛土（ICT） 対象機械：ブルドーザ 548,000円/式</p> <p>5-3 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p style="text-align: right;">II-1-②-45</p>

令和6年度 山口県設計標準歩掛表（一般共通編）
正誤表

適用基準日：070401

頁	正	誤
<p>II-1-②-46</p> <p>第II編 第1章 土工 ②-2 土工 (ICT)</p>	<p style="text-align: center;">070401以降適用(070425訂正)</p> <p>5-<u>2</u>. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 (1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め</p> <p>なお、土工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～5）又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とする。なお、その他の出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 2) 地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理 3) 無人航空機搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理 4) 地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理 5) 上記1）～4）に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 <p>(2) 費用計上にあたっての留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が（1）で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。 2) 受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。 <p style="text-align: center;">II-1-②-46</p>	<p style="text-align: center;">070401以降適用</p> <p>5-<u>A</u>. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 (1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め</p> <p>なお、土工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～5）又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とする。なお、その他の出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 2) 地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理 3) 無人航空機搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理 4) 地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理 5) 上記1）～4）に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 <p>(2) 費用計上にあたっての留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が（1）で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。 2) 受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。 <p style="text-align: center;">II-1-②-46</p>

令和6年度 山口県設計標準歩掛表（一般共通編）
正誤表

適用基準日：070401

頁	正	誤
<p>II-1-③-12 第II編 第1章 土工 ③-2 床掘工 (ICT)</p>	<p style="text-align: center;">070401以降適用(070425訂正)</p> <p>5. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>5-1. システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) 掘削（床掘）（ICT） 対象機械：バックホウ 598,000円/式</p> <p>5-2. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p>5-3. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 床掘工（ICT）については、出来形管理を行わないため、費用は計上しない。</p> <p style="text-align: center;">II-1-③-12</p>	<p style="text-align: center;">070401以降適用</p> <p>5. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>5-1. 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 (1) 床掘工（ICT）（S10FH014）</p> $\frac{\text{施工数量(m3)} \times 100}{\text{作業日当り標準作業量 (m3/日)} \times 100}$ <p>保守点検費 = 土木一般世帯役(円) × 0.05(大/日) × 施工数量(m3) × 100 (注) 施工数量はICT建機により施工する掘削土量とする。作業日当り標準作業量は「第1編第14章その 他の作業日当り標準作業量」の標準作業量による。</p> <p>5-2. システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) 掘削（床掘）（ICT） 対象機械：バックホウ 598,000円/式</p> <p>5-3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p>5-4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 床掘工（ICT）については、出来形管理を行わないため、費用は計上しない。</p> <p style="text-align: center;">II-1-③-12</p>

令和6年度 山口県設計標準歩掛表（一般共通編）
正誤表

適用基準日：070401

頁	正	誤
<p>II-2-①-9 第II編 第2章 共通工 ①-2 法面整形工(ICT)</p>	<p style="text-align: center;">070401以降適用(070425訂正)</p> <p>5. ICT建設機械経費加算額</p> <p>5-1 ICT建設機械経費賃料加算額 地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。 (1) ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型）） 13,000 円/日</p> <p>6. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>6-1. システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) 法面整形（ICT） 対象機械：バックホウ 598,000 円/式</p> <p>6-2. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p>6-3. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 (1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め なお、法面整形工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～5）又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とする。なお、その他の出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 2) 地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理 3) 無人航空機搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理 4) 地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理 5) 上記1）～4）に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 (2) 費用計上にあたっての留意事項 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が（1）で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。 2) 受注者からの見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。</p> <p style="text-align: center;">II-2-①-9</p>	<p style="text-align: center;">070401以降適用</p> <p>5. ICT建設機械経費加算額</p> <p>5-1 ICT建設機械経費賃料加算額 地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。 (1) ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型）） 13,000 円/日</p> <p>6. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>6-1. システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) 法面整形（ICT） 対象機械：バックホウ 598,000 円/式</p> <p>6-2. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p>6-2. システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) 法面整形（ICT） 対象機械：バックホウ 598,000 円/式</p> <p>6-3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p>6-4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 (1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め なお、法面整形工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～5）又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とする。なお、その他の出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 2) 地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理 3) 無人航空機搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理 4) 地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理 5) 上記1）～4）に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 (2) 費用計上にあたっての留意事項 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が（1）で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。 2) 受注者からの見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。</p> <p style="text-align: center;">II-2-①-9</p>

頁	新	旧
<p>IV-1-①-24 第IV編 第1章 舗装工 ①-2路盤工 (ICT)</p>	<p style="text-align: center;">070401以降適用</p> <p>4. ICT建設機械経費加算額 4-1 ICT建設機械経費賃料加算額 建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。 (1) ICT建設機械経費賃料加算額（モータグレーダ） 49,000円/日</p> <p>5. その他ICT建設機械経費等 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。</p> <p>5-1.1 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) 不陸整正（ICT）、下層路盤（車道・路肩部）（ICT）、上層路盤（車道・路肩部）（ICT） 対象機械：モータグレーダ 623,000円/式</p> <p>5-2. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p>5-3. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 (1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め なお、路盤工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～3）又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とする。なお、その他の出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 1) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 2) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 3) 上記1)又は2)に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 (2) 費用計上にあたっての留意事項 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が（1）で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。 2) 受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。</p> <p style="text-align: center;">IV-1-①-24</p>	<p>4. ICT建設機械経費加算額 4-1 ICT建設機械経費賃料加算額 建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。 (1) ICT建設機械経費賃料加算額（モータグレーダ） 49,000円/日</p> <p>5. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>5-1.1 保守点検（SICTH005、SICTH006、SICTH007） ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 (1) 不陸整正（ICT）、下層路盤（車道・路肩部）（ICT）、上層路盤（車道・路肩部）（ICT） $\text{保守点検費} = \text{土木 取扱回数(回)} \times 0.18(\text{人/日}) \times \frac{\text{施工数量}(m^2) \times \text{層数}}{\text{作業日当り標準作業量}(m^2/\text{日}\cdot\text{層})}$ (注) 作業日当り標準作業量は「第1編第13章その他作業日当り標準作業量」による。</p> <p>5-2. システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) 不陸整正（ICT）、下層路盤（車道・路肩部）（ICT）、上層路盤（車道・路肩部）（ICT） 対象機械：モータグレーダ 623,000円/式</p> <p>5-3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p>5-4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 (1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め なお、路盤工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～3）又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とする。なお、その他の出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 1) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 2) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 3) 上記1)又は2)に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 (2) 費用計上にあたっての留意事項 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が（1）で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。 2) 受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。</p> <p style="text-align: center;">IV-1-①-24</p>

令和6年度 山口県設計標準歩掛表（道路編・電気（電気通信）編・河川編・機械設備編）
 新旧対照表

適用基準日：070401

頁	新	旧																																
<p>Ⅲ-1-④-9 第Ⅲ編 第1章 河川海岸 ④-2バックホウ浚 漉船(ICT)</p>	<p style="text-align: center;">070401以降適用</p> <p>4-3 繫船費 繫船費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚漉船」による。</p> <p>4-4 作業船運転費 作業船運転費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚漉船」による。</p> <p>4-5 土運船運転費 土運船運転費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚漉船」による。</p> <p>4-6 浚漉土揚土費(ICT) 土運船によって運搬された浚漉土のダンプトラックへの積み込み又は仮置き作業に要する費用である。 (1) 機械の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 機械の選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日当り平均浚漉量 365m³以上</td> <td rowspan="2">バックホウ (クローラ型)</td> <td rowspan="2">標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1日当り平均浚漉量 365m³を超え645m³以下</td> <td>n</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 浚漉土揚土作業日数 浚漉土の揚土作業日数は、浚漉作業日数を計上するものとする。</p> <p>4-7 ダンプトラック運搬費 処分地への浚漉土運搬に要する費用であり、「第Ⅱ編第1章②-1土工3-2 土砂等運搬」により別途計上する。</p> <p>5. 回航費並びに運搬費 回航費並びに運搬費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚漉船」による。</p> <p>6. 雑工事費 雑工事費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚漉船」による。</p> <p>7. 汚濁防止フェンス 汚濁防止フェンス設置・撤去は「第Ⅱ編第5章②汚濁防止フェンス工」により別途計上する。</p> <p>8. ICT建設機械経費加算額 8-1 ICT建設機械経費損料加算額 建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。 (1) ICT建設機械経費損料加算額(バックホウ浚漉船) 41,000円/日</p> <p style="text-align: center;">Ⅲ-1-④-9</p>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要	1日当り平均浚漉量 365m ³ 以上	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	台	1		1日当り平均浚漉量 365m ³ を超え645m ³ 以下	n	2		<p>4-3 繫船費 繫船費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚漉船」による。</p> <p>4-4 作業船運転費 作業船運転費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚漉船」による。</p> <p>4-5 土運船運転費 土運船運転費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚漉船」による。</p> <p>4-6 浚漉土揚土費(ICT) 土運船によって運搬された浚漉土のダンプトラックへの積み込み又は仮置き作業に要する費用である。 (1) 機械の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 機械の選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日当り平均浚漉量 365m³以上</td> <td rowspan="2">バックホウ (クローラ型)</td> <td rowspan="2">標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1日当り平均浚漉量 365m³を超え645m³以下</td> <td>n</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 浚漉土揚土作業日数 浚漉土の揚土作業日数は、浚漉作業日数を計上するものとする。</p> <p>4-7 ダンプトラック運搬費 処分地への浚漉土運搬に要する費用であり、「第Ⅱ編第1章②-1土工3-2 土砂等運搬」により別途計上する。</p> <p>5. 回航費並びに運搬費 回航費並びに運搬費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚漉船」による。</p> <p>6. 雑工事費 雑工事費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚漉船」による。</p> <p>7. 汚濁防止フェンス 汚濁防止フェンス設置・撤去は「第Ⅱ編第5章②汚濁防止フェンス工」により別途計上する。</p> <p>8. ICT建設機械経費加算額 8-1 ICT建設機械経費損料加算額 建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。 (1) ICT建設機械経費損料加算額(バックホウ浚漉船) 41,000円/日</p> <p>9. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。 ④-1 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 (1) バックホウ浚漉船(ICT) (S16TH027) 保守点検費 = 土木一般世話役(円) × 0.05(人/日) × 浚漉作業日数 (注) 浚漉作業日数はICT建機により施工した浚漉作業日数とする。</p> <p style="text-align: center;">Ⅲ-1-④-9</p>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要	1日当り平均浚漉量 365m ³ 以上	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	台	1		1日当り平均浚漉量 365m ³ を超え645m ³ 以下	n	2	
作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要																													
1日当り平均浚漉量 365m ³ 以上	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	台	1																														
1日当り平均浚漉量 365m ³ を超え645m ³ 以下			n	2																														
作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要																													
1日当り平均浚漉量 365m ³ 以上	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	台	1																														
1日当り平均浚漉量 365m ³ を超え645m ³ 以下			n	2																														

令和6年度 山口県設計標準歩掛表（道路編・電気（電気通信）編・河川編・機械設備編）
 新旧対照表

適用基準日：070401

頁	新	旧																																																																																																																																												
<p>Ⅲ-1-④-10 第Ⅲ編 第1章 河川海岸 ④-2バックホウ浚 漉船(ICT)</p>	<p style="text-align: center;">070401以降適用</p> <p>9. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>9-1. システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) バックホウ浚漉船（ICT） 対象機械：バックホウ浚漉船 1,200,000円/式</p> <p>9-2. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p>9-3. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 (1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め 上記費用の対象となる出来形管理は、以下の1)及び2)とし、ICT活用工事（河川浚漉）実施要領に示された、その他の3次元計測技術（「1」に類似する）技術以外を用いた出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため、別途計上は行わない。 1) 音響測深機器を用いた出来形管理 2) 上記1)に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 (2) 費用計上にあたっての留意事項 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が（1）で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。 2) 受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。</p> <p>10. 単 価 表 (1) バックホウ浚漉船（ICT）(〇〇m³) 運転1日当り単価表 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">施工歩掛コード (SICTH025)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高級船員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>普通船員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> <td>人</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ浚漉船（ICT）運転</td> <td>D〇〇m³</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>機械損料</td> </tr> <tr> <td>汚濁防止枠</td> <td></td> <td>供用日</td> <td>1.53</td> <td>必要に応じて計上 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (注) 汚濁防止膜は別途計上する。 (2) 浚漉土揚土（ICT）1日当り単価表 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">施工歩掛コード (SICTH026)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）運転</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.5 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </p>	施工歩掛コード (SICTH025)					名称	規格	単位	数量	摘要	高級船員		人	1	表4.3	普通船員		人	2	〃	運転手（特殊）		人	1	〃	バックホウ浚漉船（ICT）運転	D〇〇m ³	日	1	機械損料	汚濁防止枠		供用日	1.53	必要に応じて計上 機械損料	諸雑費		式	1		計					施工歩掛コード (SICTH026)					名称	規格	単位	数量	摘要	バックホウ（クローラ型）運転	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	日		表4.5 機械損料	諸雑費		式	1		計					<p>9-2. システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) バックホウ浚漉船（ICT） 対象機械：バックホウ浚漉船 1,200,000円/式</p> <p>9-3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p>9-4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 (1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め 上記費用の対象となる出来形管理は、以下の1)及び2)とし、ICT活用工事（河川浚漉）実施要領に示された、その他の3次元計測技術（「1」に類似する）技術以外を用いた出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため、別途計上は行わない。 1) 音響測深機器を用いた出来形管理 2) 上記1)に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 (2) 費用計上にあたっての留意事項 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が（1）で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。 2) 受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。</p> <p>10. 単 価 表 (1) バックホウ浚漉船（ICT）(〇〇m³) 運転1日当り単価表 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">施工歩掛コード (SICTH025)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高級船員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>普通船員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> <td>人</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ浚漉船（ICT）運転</td> <td>D〇〇m³</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>機械損料</td> </tr> <tr> <td>汚濁防止枠</td> <td></td> <td>供用日</td> <td>1.53</td> <td>必要に応じて計上 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (注) 汚濁防止膜は別途計上する。 (2) 浚漉土揚土（ICT）1日当り単価表 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">施工歩掛コード (SICTH026)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）運転</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.5 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </p>	施工歩掛コード (SICTH025)					名称	規格	単位	数量	摘要	高級船員		人	1	表4.3	普通船員		人	2	〃	運転手（特殊）		人	1	〃	バックホウ浚漉船（ICT）運転	D〇〇m ³	日	1	機械損料	汚濁防止枠		供用日	1.53	必要に応じて計上 機械損料	諸雑費		式	1		計					施工歩掛コード (SICTH026)					名称	規格	単位	数量	摘要	バックホウ（クローラ型）運転	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	日		表4.5 機械損料	諸雑費		式	1		計				
施工歩掛コード (SICTH025)																																																																																																																																														
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																										
高級船員		人	1	表4.3																																																																																																																																										
普通船員		人	2	〃																																																																																																																																										
運転手（特殊）		人	1	〃																																																																																																																																										
バックホウ浚漉船（ICT）運転	D〇〇m ³	日	1	機械損料																																																																																																																																										
汚濁防止枠		供用日	1.53	必要に応じて計上 機械損料																																																																																																																																										
諸雑費		式	1																																																																																																																																											
計																																																																																																																																														
施工歩掛コード (SICTH026)																																																																																																																																														
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																										
バックホウ（クローラ型）運転	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	日		表4.5 機械損料																																																																																																																																										
諸雑費		式	1																																																																																																																																											
計																																																																																																																																														
施工歩掛コード (SICTH025)																																																																																																																																														
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																										
高級船員		人	1	表4.3																																																																																																																																										
普通船員		人	2	〃																																																																																																																																										
運転手（特殊）		人	1	〃																																																																																																																																										
バックホウ浚漉船（ICT）運転	D〇〇m ³	日	1	機械損料																																																																																																																																										
汚濁防止枠		供用日	1.53	必要に応じて計上 機械損料																																																																																																																																										
諸雑費		式	1																																																																																																																																											
計																																																																																																																																														
施工歩掛コード (SICTH026)																																																																																																																																														
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																										
バックホウ（クローラ型）運転	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	日		表4.5 機械損料																																																																																																																																										
諸雑費		式	1																																																																																																																																											
計																																																																																																																																														
	Ⅲ-1-④-10	Ⅲ-1-④-10																																																																																																																																												

令和6年度 山口県設計標準歩掛表（道路編・電気（電気通信）編・河川編・機械設備編）
 新旧対照表

適用基準日：070401

頁	新	旧																																																																																								
<p>Ⅲ-2-⑦-8 第Ⅲ編 第2章 河川維持工 ⑦-2機械土工 (河床等掘削) (ICT)</p>	<p style="text-align: center;">070401以降適用</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 軟弱土等運搬(ICT) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="454 451 1012 740"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t 積載</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. ICT建設機械経費加算額 4-1 ICT建設機械経費賃料加算額 地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。 (1) ICT建設機械経費賃料加算額(バックホウ (ICT施工対応型)) 13,000円/日</p> <p>5. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>5-1. システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) 機械土工 (河床等掘削) (ICT) 対象機械：バックホウ 598,000円/式</p> <p>5-2. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p style="text-align: center;">Ⅲ-2-⑦-8</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t 積載	タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む	K2	-		K3	-		労務	R1	運転手(一般)		R2	-		R3	-		R4	-		材料	Z1	軽油 バトロール給油		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 軟弱土等運搬(ICT) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="1460 451 2018 740"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t 積載</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. ICT建設機械経費加算額 4-1 ICT建設機械経費賃料加算額 地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。 (1) ICT建設機械経費賃料加算額(バックホウ (ICT施工対応型)) 13,000円/日</p> <p>5. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>5-1 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 (1) 機械土工 (河床等掘削) (ICT) (S16TH013) $\text{保守点検費} = \text{土木一般世帯役(円)} \times 0.05(\text{人/日}) \times \frac{\text{施工数量}(\text{m}^3)}{\text{作業日当り標準作業量}(\text{m}^3/\text{日})} \times \frac{100}{100}$ (注) 施工数量はICT建機により施工する掘削土量とする。作業日当り標準作業量は「第1編第14章その他守作業日当り標準作業量」の標準作業量による。</p> <p>5-2. システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) 機械土工 (河床等掘削) (ICT) 対象機械：バックホウ 598,000円/式</p> <p>5-3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p style="text-align: center;">Ⅲ-2-⑦-8</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t 積載	タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む	K2	-		K3	-		労務	R1	運転手(一般)		R2	-		R3	-		R4	-		材料	Z1	軽油 バトロール給油		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-	
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t 積載	タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む																																																																																							
	K2	-																																																																																								
	K3	-																																																																																								
労務	R1	運転手(一般)																																																																																								
	R2	-																																																																																								
	R3	-																																																																																								
	R4	-																																																																																								
材料	Z1	軽油 バトロール給油																																																																																								
	Z2	-																																																																																								
	Z3	-																																																																																								
	Z4	-																																																																																								
市場単価	S	-																																																																																								
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t 積載	タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む																																																																																							
	K2	-																																																																																								
	K3	-																																																																																								
労務	R1	運転手(一般)																																																																																								
	R2	-																																																																																								
	R3	-																																																																																								
	R4	-																																																																																								
材料	Z1	軽油 バトロール給油																																																																																								
	Z2	-																																																																																								
	Z3	-																																																																																								
	Z4	-																																																																																								
市場単価	S	-																																																																																								

令和6年度 山口県設計標準歩掛表（道路編・電気（電気通信）編・河川編・機械設備編）
 新旧対照表

適用基準日：070401

頁	新	旧
<p>III-2-⑦-9 第III編 第2章 河川維持工 ⑦-2機械土工 (河床等掘削) (ICT)</p>	<p style="text-align: center;">070401以降適用</p> <p>5-3. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 (1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め 上記費用の対象となる出来形管理は、以下の1)及び2)とし、ICT活用工事(土工)実施要領に示された、ICT建設機械の施工履歴データを用いた出来形管理及びその他の3次元計測技術(「1」に類似する「技術以外」)を用いた出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため、別途計上は行わない。 1) 音響測深機器を用いた出来形管理 2) 上記1)に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 (2) 費用計上にあたっての留意事項 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が(1)で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。 2) 受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。</p> <p style="text-align: center;">III-2-⑦-9</p>	<p>5-4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 (1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め 上記費用の対象となる出来形管理は、以下の1)及び2)とし、ICT活用工事(土工)実施要領に示された、ICT建設機械の施工履歴データを用いた出来形管理及びその他の3次元計測技術(「1」に類似する「技術以外」)を用いた出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため、別途計上は行わない。 1) 音響測深機器を用いた出来形管理 2) 上記1)に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 (2) 費用計上にあたっての留意事項 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が(1)で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。 2) 受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。</p> <p style="text-align: center;">III-2-⑦-9</p>

令和6年度 山口県設計標準歩掛表（道路編・電気（電気通信）編・河川編・機械設備編）
 新旧対照表

適用基準日：070401

頁	新	旧																																																																																						
<p>Ⅲ-3-①-14</p> <p>第Ⅲ編 第3章 砂防工 ①-2土工 (ICT)</p>	<p style="text-align: center;">070401以降適用</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 掘削(砂防)(ICT)※[ICT建機使用割合100%] 代表機材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="477 464 991 776"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)】山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>ICT建設機械経費賃料加算額</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ICT建設機械経費賃料加算額(バックホウ(ICT施工対応型))は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</p> <p>4. ICT建設機械経費加算額</p> <p>4-1 ICT建設機械経費賃料加算額 地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。 (1) ICT建設機械経費賃料加算額(バックホウ(ICT施工対応型)) 13,000円/日</p> <p>5. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>5-1 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) 掘削(砂防)(ICT)※[ICT建機使用割合100%] 対象機械：バックホウ 598,000円/式</p> <p>5-2 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p style="text-align: center;">Ⅲ-3-①-14</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)】山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	賃料	K2	ICT建設機械経費賃料加算額	賃料	K3	—		労務	R1	運転手(特殊)		R2	—		R3	—		R4	—		材料	Z1	軽油 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 掘削(砂防)(ICT)※[ICT建機使用割合100%] 代表機材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="1480 464 1995 776"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)】山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>ICT建設機械経費賃料加算額</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ICT建設機械経費賃料加算額(バックホウ(ICT施工対応型))は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</p> <p>4. ICT建設機械経費加算額</p> <p>4-1 ICT建設機械経費賃料加算額 地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。 (1) ICT建設機械経費賃料加算額(バックホウ(ICT施工対応型)) 13,000円/日</p> <p>5. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>5-1 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 (1) 掘削(砂防)(ICT)※[ICT建機使用割合100%] $\frac{\text{保守点検費} \times \text{土木一般運賃(円)} \times 0.05(\text{人/日}) \times \text{施工数量(m}^3\text{)}}{\text{作業日当り標準作業量(m}^3\text{/日)}} \times 100$ (注) 施工数量はICT建機により施工する掘削土量とする。作業日当り標準作業量は「第1編第13章その他①作業日当り標準作業量」の標準作業量による。</p> <p>5-2 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) 掘削(砂防)(ICT)※[ICT建機使用割合100%] 対象機械：バックホウ 598,000円/式</p> <p>5-3 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。</p> <p style="text-align: center;">Ⅲ-3-①-14</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)】山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	賃料	K2	ICT建設機械経費賃料加算額	賃料	K3	—		労務	R1	運転手(特殊)		R2	—		R3	—		R4	—		材料	Z1	軽油 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—	
項目	代表機材規格	備考																																																																																						
機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)】山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	賃料																																																																																					
	K2	ICT建設機械経費賃料加算額	賃料																																																																																					
	K3	—																																																																																						
労務	R1	運転手(特殊)																																																																																						
	R2	—																																																																																						
	R3	—																																																																																						
	R4	—																																																																																						
材料	Z1	軽油 バトロール給油																																																																																						
	Z2	—																																																																																						
	Z3	—																																																																																						
	Z4	—																																																																																						
市場単価	S	—																																																																																						
項目	代表機材規格	備考																																																																																						
機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)】山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	賃料																																																																																					
	K2	ICT建設機械経費賃料加算額	賃料																																																																																					
	K3	—																																																																																						
労務	R1	運転手(特殊)																																																																																						
	R2	—																																																																																						
	R3	—																																																																																						
	R4	—																																																																																						
材料	Z1	軽油 バトロール給油																																																																																						
	Z2	—																																																																																						
	Z3	—																																																																																						
	Z4	—																																																																																						
市場単価	S	—																																																																																						

令和6年度 山口県設計標準歩掛表（道路編・電気（電気通信）編・河川編・機械設備編）
 新旧対照表

適用基準日：070401

頁	新	旧
<p>Ⅲ-3-①-15</p> <p>第Ⅲ編 第3章 砂防工 ①-2土工 (ICT)</p>	<p style="text-align: center;">070401以降適用</p> <p>5-3. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 (1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め</p> <p>なお、土工（砂防）（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～5）又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とする。なお、その他の出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 2) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 5) 上記1）～4）に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 <p>(2) 費用計上にあたっての留意事項 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が（1）で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。 2) 受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。</p> <p style="text-align: center;">Ⅲ-3-①-15</p>	<p>5-4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 (1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め</p> <p>なお、土工（砂防）（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～5）又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とする。なお、その他の出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 2) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 5) 上記1）～4）に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 <p>(2) 費用計上にあたっての留意事項 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が（1）で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。 2) 受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。</p> <p style="text-align: center;">Ⅲ-3-①-15</p>

工種名	設定内容				
土工 (ICT)	① 掘削 (ICT) ※[ICT建機使用割合 100%]				
	土質	施工方法	障害の有無	施工数量	作業日当り標準作業量
	土砂	オープンカット	無し	5,000m3未満	250 m3/日
				5,000m3以上 10,000m3未満	290 m3/日
				10,000m3以上 50,000m3未満	350 m3/日
				50,000m3以上	410 m3/日
			有り	5,000m3未満	150 m3/日
				5,000m3以上 10,000m3未満	180 m3/日
				10,000m3以上 50,000m3未満	230 m3/日
				50,000m3以上	270 m3/日
	片切掘削	—	—	242 m3/日	
	岩塊・玉石	オープンカット	無し	5,000m3未満	190 m3/日
				5,000m3以上 10,000m3未満	220 m3/日
				10,000m3以上 50,000m3未満	270 m3/日
				50,000m3以上	340 m3/日
			有り	5,000m3未満	120 m3/日
				5,000m3以上 10,000m3未満	140 m3/日
				10,000m3以上 50,000m3未満	170 m3/日
				50,000m3以上	220 m3/日
	② 路体 (築堤) 盛土 (ICT)				
作業形態	施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量	ICT標準作業量	
敷均し+締固め	20,000m3未満	無し	550 m3/日	550 m3/日	
		有り	280 m3/日	280 m3/日	
	20,000m3以上	無し	690 m3/日	690 m3/日	
		有り	400 m3/日	430 m3/日	
(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。					
③ 路床盛土 (ICT)					
施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量	ICT標準作業量		
20,000m3未満	無し	430 m3/日	430 m3/日		
	有り	140 m3/日	220 m3/日		
20,000m3以上	無し	500 m3/日	540 m3/日		
	有り	140 m3/日	320 m3/日		
(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。					

4. ICT建設機械経費加算額

4-1 ICT建設機械経費賃料加算額

地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。

- (1) ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型））
13,000 円/日
- (2) ICT建設機械経費賃料加算額（ブルドーザ（ICT施工対応型））
13,000 円/日

5. その他ICT建設機械経費等

ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。

5-1 システム初期費

ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。

- (1) 掘削（ICT）※ [ICT建機使用割合 100%] 対象機械：バックホウ
598,000 円/式
- (2) 路体（築堤）盛土（ICT），路床盛土（ICT） 対象機械：ブルドーザ
548,000 円/式

5-2 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用

3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。

5-3 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用，外注経費等の費用

(1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については，共通仮設費率，現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。

- ・ 共通仮設費率補正係数 : 1.2
- ・ 現場管理費率補正係数 : 1.1

※小数点第3位四捨五入2位止め

なお，土工（ICT）において，経費の計上が適用となる出来形管理は，以下の1）～5）又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とする。なお，その他の出来形管理の経費は，共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。

- 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
- 2) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- 3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- 4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- 5) 上記1）～4）に類似する，その他の3次元計測技術を用いた出来形管理

(2) 費用計上にあたっての留意事項

- 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は，費用の妥当性を確認することとし，受注者からの見積りにより算出される金額が（1）で算出される金額を下回る場合は，見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。
- 2) 受注者から見積りの提出がない場合は，3次元出来形管理・3次元データ納品の費用，外注経費等の費用は計上しないものとする。

5. その他ICT建設機械経費等

ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。

5-1 システム初期費

ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。

- (1) 掘削（床掘）（ICT） 対象機械：バックホウ
598,000 円/式

5-2 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用

3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。

5-3 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用

床掘工（ICT）については、出来形管理を行わないため、費用は計上しない。

5. ICT建設機械経費加算額

5-1 ICT建設機械経費賃料加算額

地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。

- (1) ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型））
13,000 円/日

6. その他ICT建設機械経費等

ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。

6-1 システム初期費

ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。

- (1) 法面整形（ICT） 対象機械：バックホウ
598,000 円/式

6-2 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用

3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。

6-3 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用

- (1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。

- ・共通仮設費率補正係数 : 1.2
- ・現場管理費率補正係数 : 1.1

※小数点第3位四捨五入2位止め

なお、法面整形工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～5）又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とする。なお、その他の出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。

- 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
- 2) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- 3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- 4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- 5) 上記1）～4）に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理

(2) 費用計上にあたっての留意事項

- 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が（1）で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。
- 2) 受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。

4. ICT建設機械経費加算額

4-1 ICT建設機械経費賃料加算額

建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。

(1) ICT建設機械経費賃料加算額（モータグレーダ）

49,000 円/日

5. その他ICT建設機械経費等

ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。

5-1 システム初期費

ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。

(1) 不陸整正（ICT），下層路盤（車道・路肩部）（ICT），上層路盤（車道・路肩部）（ICT）

対象機械：モータグレーダ

623,000 円/式

5-2 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用

3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。

5-3 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用

(1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。

・共通仮設費率補正係数 : 1.2

・現場管理費率補正係数 : 1.1

※小数点第3位四捨五入2位止め

なお、路盤工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～3）又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とする。なお、その他の出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。

1) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

2) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

3) 上記1)又は2)に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理

(2) 費用計上にあたっての留意事項

1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が(1)で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。

2) 受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。

4-3 繫船費

繫船費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚渫船」による。

4-4 作業船運転費

作業船運転費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚渫船」による。

4-5 土運船運転費

土運船運転費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚渫船」による。

4-6 浚渫土揚土費（ICT）

土運船によって運搬された浚渫土のダンプトラックへの積み込み又は仮置き作業に要する費用である。

(1) 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表4.5 機種の選定

作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要
1日当り平均浚渫量 365m ³ 以下	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	台	1	
1日当り平均浚渫量 365m ³ を超え645m ³ 以下			〃	2	

(2) 浚渫土揚土作業日数

浚渫土の揚土作業日数は、浚渫作業日数を計上するものとする。

4-7 ダンプトラック運搬費

処分地への浚渫土運搬に要する費用であり、「第Ⅱ編第1章②-1土工3-2 土砂等運搬」により別途計上する。

5. 回航費並びに運搬費

回航費並びに運搬費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚渫船」による。

6. 雑工事費

雑工事費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚渫船」による。

7. 汚濁防止フェンス

汚濁防止フェンス設置・撤去は「第Ⅱ編第5章⑩汚濁防止フェンス工」により別途計上する。

8. ICT建設機械経費加算額

8-1 ICT建設機械経費損料加算額

建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。

(1) ICT建設機械経費損料加算額（バックホウ浚渫船）

41,000円/日

9. その他ICT建設機械経費等

ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。

9-1 システム初期費

ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。

- (1) バックホウ浚渫船 (ICT) 対象機械：バックホウ浚渫船
1,200,000 円/式

9-2 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用

3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。

9-3 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用

- (1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。

- ・共通仮設費率補正係数 : 1.2
- ・現場管理費率補正係数 : 1.1

※小数点第3位四捨五入2位止め

上記費用の対象となる出来形管理は、以下の1)及び2)とし、ICT活用工事(河川浚渫)実施要領に示された、その他の3次元計測技術(「1)に類似する」技術以外)を用いた出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため、別途計上は行わない。

- 1) 音響測深機器を用いた出来形管理
 - 2) 上記1)に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理
- (2) 費用計上にあたっての留意事項

- 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が(1)で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。
- 2) 受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。

10. 単 価 表

(1) バックホウ浚渫船 (ICT) (〇〇m³) 運転1日当り単価表

施工歩掛コード (SICHT025)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
高 級 船 員		人	1	表4.3
普 通 船 員		〃	2	〃
運 転 手 (特 殊)		〃	1	〃
バックホウ浚渫船 (ICT) 運 転	D〇〇m ³	日	1	機械損料
汚 濁 防 止 枠		供用日	1.53	必要に応じて計上 機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) 汚濁防止膜は別途計上する。

(2) 浚渫土揚土 (ICT) 1日当り単価表

施工歩掛コード (SICHT026)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
バックホウ (クローラ型)運 転	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	日		表4.5 機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(2) 代表機材規格

下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.3 軟弱土等運搬(ICT) 代表機材規格一覧

項目		代表機材規格	備考
機械	K 1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	タイヤ損耗費及び補修費 (良好)を含む
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	運転手 (一般)	
	R 2	—	
	R 3	—	
	R 4	—	
材料	Z 1	軽油 パトロール給油	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

4. ICT建設機械経費加算額

4-1 ICT建設機械経費賃料加算額

地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。

(1) ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ (ICT施工対応型))

13,000 円/日

5. その他ICT建設機械経費等

ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。

5-1 システム初期費

ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。

(1) 機械土工 (河床等掘削) (ICT) 対象機械:バックホウ

598,000 円/式

5-2 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用

3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。

5-3 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用，外注経費等の費用

(1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については，共通仮設費率，現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。

- ・共通仮設費率補正係数 : 1.2
- ・現場管理費率補正係数 : 1.1

※小数点第3位四捨五入2位止め

上記費用の対象となる出来形管理は，以下の1)及び2)とし，ICT活用工事(土工)実施要領に示された，ICT建設機械の施工履歴データを用いた出来形管理及びその他の3次元計測技術(「1)に類似する」技術以外)を用いた出来形管理の経費は，共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため，別途計上は行わない。

- 1) 音響測深機器を用いた出来形管理
- 2) 上記1)に類似する，その他の3次元計測技術を用いた出来形管理

(2) 費用計上にあたっての留意事項

- 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は，費用の妥当性を確認することとし，受注者からの見積りにより算出される金額が(1)で算出される金額を下回る場合は，見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。
- 2) 受注者から見積りの提出がない場合は，3次元出来形管理・3次元データ納品の費用，外注経費等の費用は計上しないものとする。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表3.2 掘削(砂防)(ICT)※[ICT建機使用割合 100%] 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料
	K2	ICT建設機械経費賃料加算額	賃料
	K3	—	
労務	R1	運転手(特殊)	
	R2	—	
	R3	—	
	R4	—	
材料	Z1	軽油 パトロール給油	
	Z2	—	
	Z3	—	
	Z4	—	
市場単価	S	—	

(注) ICT建設機械経費賃料加算額(バックホウ(ICT施工対応型))は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。

4. ICT建設機械経費加算額

4-1 ICT建設機械経費賃料加算額

地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。

(1) ICT建設機械経費賃料加算額(バックホウ(ICT施工対応型))

13,000円/日

5. その他ICT建設機械経費等

ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。

5-1 システム初期費

ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。

(1) 掘削(砂防)(ICT)※[ICT建機使用割合 100%] 対象機械:バックホウ

598,000円/式

5-2 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用

3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。

5-3 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用

(1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。

- ・ 共通仮設費率補正係数 : 1.2
- ・ 現場管理費率補正係数 : 1.1

※小数点第3位四捨五入2位止め

なお、土工(砂防)(ICT)において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1)～5)又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とする。なお、その他の出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。

- 1) 空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理
 - 2) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
 - 3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
 - 4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
 - 5) 上記1)～4)に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理
- (2) 費用計上にあたっての留意事項
- 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が(1)で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。
 - 2) 受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。